

## ＜会長新年挨拶＞

今年も「明るく、楽しく、  
元気よく」活動を！  
会長 野呂 隆



新年が明け、会員の皆さんは希望に満ちて新たなスタートをされたことと存じます。

本年が皆さんにとってよい年になりますように、お祈り申し上げます。

今月からは年度の後期になりますが、前期を振り返りますと皆さんのご協力により何とかやってこられた、という感じがいたしております。

私が会長になって期待したことの一つに、第一例会の充実があります。

9月には、石田由美子氏(宝塚クラブ)が指導しておられる関西学院大学のフラサークル「Mahalo」の学生さん達にご出演していただき、華やかな衣装での華麗なダンスを披露していただきました。学園都市のYMCAホールに、他クラブや地域の方々など総勢七十余名が来場されて、盛大な例会になりました。

10月と11月はYMCAに協力して「ワイワイまつり」と「インターナショナルチャリティーラン2015」のイベントに参加し、毎年恒例の餅つきを行い、会場を盛り上げることができたと思います。つき手、返し手などが不足でしたが、他クラブや一般のボランティアの方が応援に来てくださり、無事に40キロのもち米をつき上げることができました。あたかも中国の諺の「一方有難 八方支援」という状況で、ボランティアの皆さんに感謝申し上げます。

12月には昨年最後の例会として、「西神戸YMCAクリスマス会」に参加しました。毎年YMCAの職員・講師、ユースリーダー、わがクラブのメン、メネットなど大勢が集まり、年に一度の大変和やかで有意義な交流の場となります。恒例の丹羽和子牧師(神戸ポート)による奨励の後には、賑やかな祝会を行います。中でも、2人1組になって相談しながら、1年間のニュースで話題になった社会の出来事や芸能、スポーツなどについての20の問題を、西田館長(連絡主事)さんの名司会によって順番に当てていくクイズコーナーは、大変に人気があり面白いです。

毎年課題になるEMCは、新年早々に1名の入会が予定され、久しぶりに入会式を行います。今後、クラブの活動がより活発になっていくように、期待したいです。

今年も申年、サルは元気よく活動する運勢を持っているそうです。

今年も皆さん全員で、「明るく、楽しく、元気よく」活動して行きましょう。

## 国際協力街頭募金に参加

副会長 佐伯一丸

今年も12月13日(日)14～16時、神戸大丸前の東西2か所にて、国際協力街頭募金が行われました。

神戸YMCAの国際委員、国際ボランティア、ワイズメンズクラブ六甲部の会員、その他外国にルーツを持つ奨学生・日本語学科生、神戸大学留学生など多様なメンバー31人が集まり、街頭募金活動を行いました。

例年だと寒くて震えながら活動していたのですが、今年も天候に恵まれて比較的暖かい中で、行いました。

奨学生や留学生が多かったのですが、終始大きな声で募金の呼びかけをしてくださいました。YMCAの活動を理解し、世界中の子供たちの教育のためと言う共通の願いを持ち、共に活動できたことをうれしく思います。

64,340円の募金が与えられました。

学園ワイズからは、野呂会長、佐伯副会長、宗利メネットが参加しました。

## ＜1月第二例会報告＞

会長 野呂 隆

- ・日時 : 2016年1月7日(木) 19:00～21:00
- ・場所 : 西神戸YMCA
- ・出席者: 佐伯、杉本、舘、達、丹家、中村、西田、野呂、(ゲスト) 檜木氏、メネット: 0

### 1. 報告事項

#### (1) 檜木善隆氏よしながの入会式

1月21日(木)の第一例会で実施する。  
当日は小野EMC事業主任来訪予定。

#### (2) 神戸YMCA 国際協力街頭募金

12/13(日)PM2:00～4:00 元町大丸前  
参加者: 佐伯、野呂、宗利メネ

#### (3) クリスマス祝会実施

12/19(土) 於 多目的ホール、  
PM6:00～礼拝、6:45～祝会

参加者: メン: 阿部、合田、佐伯、杉本、達、

中村、西田、野呂、藤井（9名）  
 メネット：阿部、合田、佐伯、宗利（4名）  
 ビジター：小田 浩氏（神戸ポート）  
 YMCA 職員、ユースリーダー、講師、西部地域委員、こども園講師など 30 名、合計 45 名

## 2. 協議事項

### (1) 1、2、3月の例会日程

1月：第一例会 1/21(木) 檜木氏入会式  
 2月：2/6(土)YY フォーラム終了後の8クラブ合同懇親会に希望者が参加する。ただし第一例会、第二例会は通常通り開催する。  
 3月：第一例会 3/17(木) 実施内容を検討中

### (2) YY フォーラム

日時：2月6日（土）13:00～17:00  
 会場：神戸栄光教会、テーマ：「ブランドの再生～神戸YMCAの宝さがし」

### (3) 8クラブ合同懇親会

2月6日（土）時間：17:30～、  
 場所・会費：未定

## 2. 当クラブ次期会長、六甲部次期EMC主査の選任

- ・次期会長 藤井久子
- ・次期 EMC 主査 野呂 隆

## 西神戸 YMCA クリスマス会

副会長 佐伯一丸

12月19日（土）西神戸 YMCA 多目的ホールで開かれました。YMCA に関係するユースリーダー（3名）、西部地域委員（1名）、職員（13名）、講師（6名）、こども園職員（8名）ワイズメンズクラブ（14名）などが集まり、互いの活動を理解し、親睦を深め、今後の YMCA 活動の活性化を目指すために、クリスマス会をお祝いしました。

礼拝（18時～）、祝会（18時45分～）、後片付け・

解散（20時～）



## 年男の年を迎えて

六甲部国際交流主査補  
 中 村 剛



皆様、明けましておめでとうございます。今年で6回目の年男をむかえました。

昨年暮れ、ブリテン担当の佐伯メンより「来年、

年男を迎えるので、大変良いことがあるので何かブリテンに書いてくれ」との依頼がありました。しかし自分自身は 70 過ぎた年男に何の良いことがあるのかとの心境です。

24 歳や 36 歳の年男ならこれからの人生についていろいろ希望や抱負があると思いますが、6 回目の年男ともなると自分の人生の過去について考える部分の方が多くなってしまっています。中学生、高校生の時は、又大学の時は、社会人になってからはと今まで歩んだ人生を振り返る部分がどうしても大半を締めるようになってしまうのではないのでしょうか？

今年の同級生からの年賀状を見ても、「今年は病院通いの回数を減らしたい」とか「昨年〇〇の手術をして 1 ヶ月入院しましたが今は元気です。」とかの添え書きが増えているのが現状です。

今年の朝日新聞の天声人語にも「猿芝居」「猿知恵」

「猿まね」等猿はかんばしくない言い回しに登場することが多いと書いてありました。株の世界を見ても年明け早々 6 日連続の下落とか世界各国のテロの事件とか余り良いニュースがない年明けとなっています。

今年一年がどのような世の中になっていくのか非常に不安な一年になりそうな気配で始まった年始であります。しかし、そうは言っても悲観ばかりしていても人生過ごすことは面白くないので、今年一年を楽しく過ごしていきたいものです。

7 回目の年男は 84 歳、8 回目の年男は 96 歳ということを見ると、それまで生きているかどうか非常に不安を感じます。しかし少なくとも 6 回目の年男である今年一年を有意義に過ごして行かねばと正月である 1 月の年初めに願っています。

皆様、今年もよろしく願いいたします。

## < 今月の聖句 >

隣人を自分のように愛しなさい

(マタイ 22-39)

世の中にはたくさんのルールや法律があります。

社会のルールや法律が、みんなの幸福のためになればよいのですが、あまりに多くて仔細で、それを守ろうとするとかえって生活が窮屈に感じることはないでしょうか。

イエス・キリストが生きておられた時代のユダヤの国もそうでした。

律法はもともと、十項目からなる「十戒」が基本でした。ところが、イエスの時代になると、人が守るべき掟は、その解釈によって六百三十項目にふくれ上がり、「せねばならない」という義務が二百四十八、「してはならない」という禁止が三百六十五項目となっていたのです。

さらに、これらを守りぬかなければ天国には行けないのだ、と主張している人々がいました。ユダヤ教のファリサイ派の人々や律法学者です。彼らは神の掟のもつ心を忘れ、形のみにとらわれて、民衆の生活を戒律で縛っていたのです。

そういう律法学者の一人が、イエスに尋ねたことがあります。

「先生、律法の中で、どの掟が最も重要でしょうか」(マタイ 22-36) と……。

もちろん、イエスを困らせようとして、難問を投げつけたのです。

それに対して、イエスは少しも動じることなく即答されました。

『心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい』これが最も重要な第一の掟である。第二も、これと同じように重要である。『隣人を自分のように愛しなさい』律法全体と預言者は、この二つの掟に基づいている」(マタイ 22-37~40)

イエスはここで、二つの掟「神への愛」と「隣人への愛」をあげられています。

ただ、これらは表裏一体なのです。

真の「神への愛」は形式的な礼拝や表面的な掟の遵守だけではなく、日常生活での「隣人愛」によってこそまっとうされるということ、イエスは教えられたのです。

~教養として知っておきたい聖書の名句 (中井俊巳、グラフ社) より~